

(宣言書の例)

「環境にやさしい農業」を進める宣言

私たち、(規約に定めた団体名称)は、以下の取組を通して環境にやさしい農業を積極的に推進していくことをここに宣言します。

- 1 堆肥その他の有機質資材の施用により土づくりに取り組みます。
- 2 有機質肥料の施用により化学肥料の使用を減らします。
- 3 生物農薬やフェロモン剤の使用または機械除草により化学合成農薬の使用を減らします。
- 4 その他、県の策定する「環境保全型農業栽培の手引」に準じた環境保全に資する技術を積極的に導入します。
- 5 技術研修会、研究会の開催や参加により積極的に情報収集に努めます。
- 6 栽培履歴を作成するとともに、取組についての情報発信に努めます。

取組作物名 水稲、トマト、なし

平成 年 月 日

住所： 市 区 × × ×

名称：

宣言内容は、宣言団体により異なります。

(協定書の例)

環境保全型農業推進にかかる協定書

【規約に定めた団体名称】(以下「甲」という。)と神奈川県知事(以下「乙」という。)は、安全で健康な生活を望む県民の願いに応えるために農業の役割を再認識し、次のとおり環境保全型農業の推進に向けた取組を行う。

甲は、化学合成された農薬と化学肥料の使用量を減らすために、堆肥その他の有機質資材の施用により土づくりに努め、乙の定める「環境保全型農業栽培の手引」に準じた栽培方式を実践する。

また、その実践内容の記録として、栽培履歴の記帳を実践する。

取組作物名： 、

乙は、甲の推進宣言を尊重し、環境保全型農業を推進するために、県民への啓発と周知及び技術支援を積極的に行う。

なお、協定締結期間は、平成 年 月 日までとする。

平成 年 月 日

甲 市 区 × × ×

代表

乙 横浜市中区日本大通 1  
神奈川県知事